

Rebroワンポイントレッスン

Rebroを使った維持管理モデル

2022.7.21

株式会社サンセツビ空間計画 鈴木 佳子

Table of contents

目次

- ●活用例
- ●資料の準備
- ●入力作業
- ●最後に

	02
--	----

......05

..... 11

..... 1



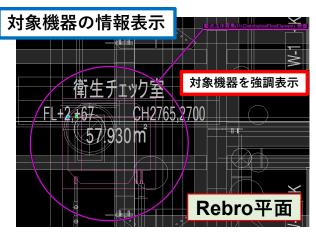
活用例 1 機器情報シートからの検索



機器情報を確認したいとき エクセルで部材を選択し、 RebroViewerを立ち上げ、 選択された機器を表示することができます。



Excelから機器検索



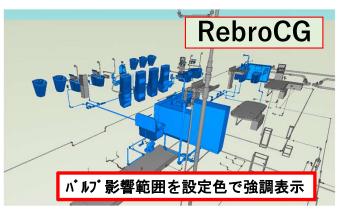


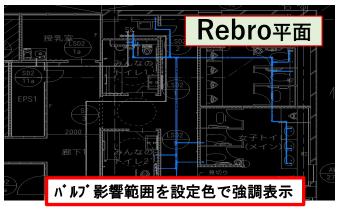
活用例 2 系統の確認



系統管理機能により、 バルブの影響範囲を 確認することができます。

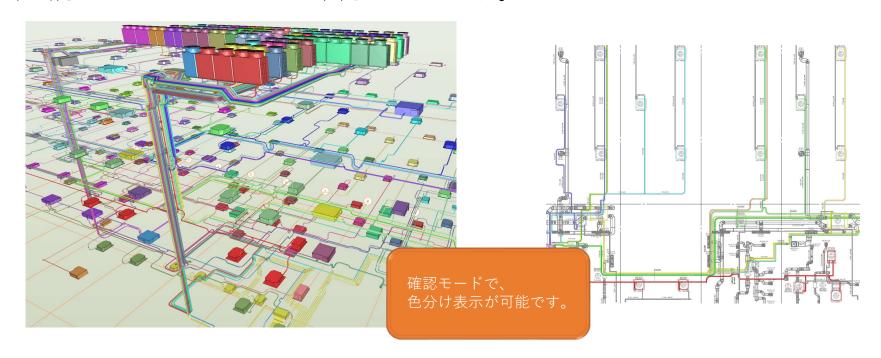








また、室内機と室外機の関係性を確認することもできます。 室外機と室内機に系統名を入力することで、 図面が読めなくてもルートの確認ができます。



資料の準備 1 フォルダの階層管理

設備モデル (空調、衛生、電気等)



(機器番号)

(機器番号)

(機器番号)

取扱説明書.pdf

_メンテナンス情報.pdf

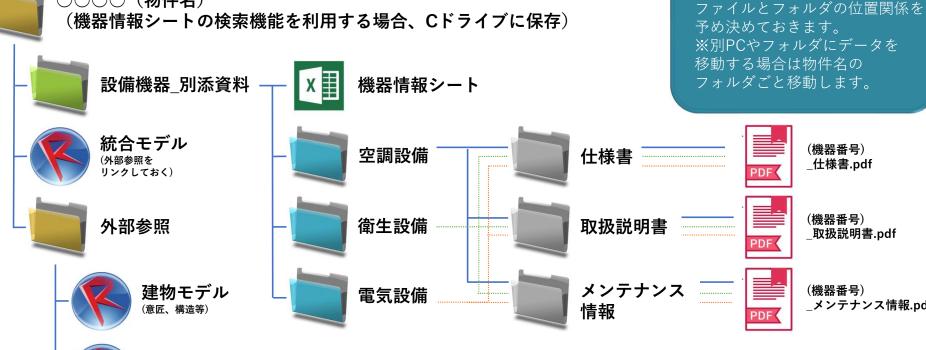
_仕様書.pdf

機器情報シートから Rebroを立ち上げるため、

各ファイルはこの様に予め保存場所を決めておきます。



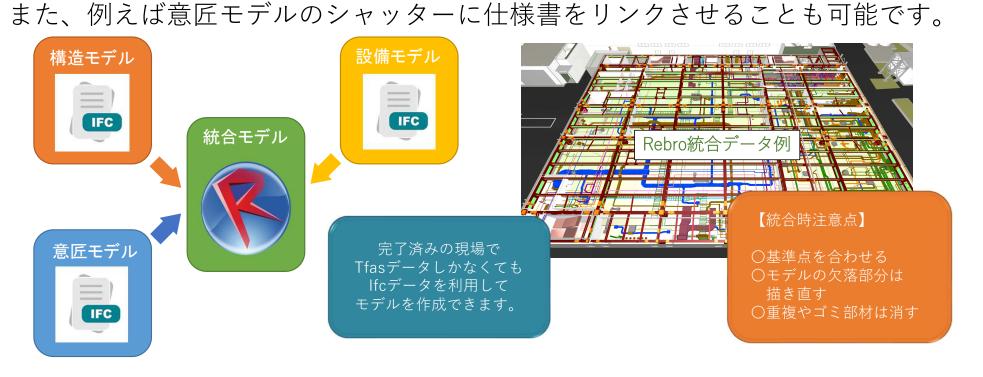
○○○○ (物件名)



資料の準備 2 モデルの統合



統合モデルを作成し、フォルダに保存します。 意匠、構造モデルが他のソフトで作られた場合も、ifcデータがあれば、 Rebroで作成されたものと同様に情報を与えられます。



資料の準備 3 機器情報シートの準備



エクセルとRebroはデータリンク機能で、相互に更新することができます。 機器に設定したい項目と内容を、エクセルの機器情報シートに入力します。 情報は機器のプロパティで確認することができます。

項目例



資料の準備 4 仕様書等の準備



機器仕様書・取扱説明書・メンテナンスシートを用意します。 各ファイルはファイル名に「機器番号」を付けて、各フォルダに保存します。 将来の機器交換時のため、ファイルは機器ごとに保存します。



機器仕様書

- 爲 AF-1仕様書.pdf
- ▲ BF1-1仕様書.pdf
- ▲ BF2-1仕様書.pdf
- BF2-2仕様書.pdf
- BF2-3仕様書.pdf
- ▲ BF3-1仕様書.pdf
- ▲ BF4-1仕様書.pdf
- ▲ CU仕様書.pdf

🔊 BF4-2仕様書.pdf

取扱説明書

- BF1-1取扱説明書.pdf
- BF2-1取扱説明書.pdf
- ▲ BF2-2取扱説明書.pdf
- 🔒 BF2-3取扱説明書.pdf
- 🔊 BF3-1取扱説明書.pdf
- 🔊 BF4-1取扱説明書.pdf
- 🔊 BF4-2取扱説明書.pdf
- 🔊 CU 取扱説明書.pdf
- 🔊 DE取扱説明書.pdf

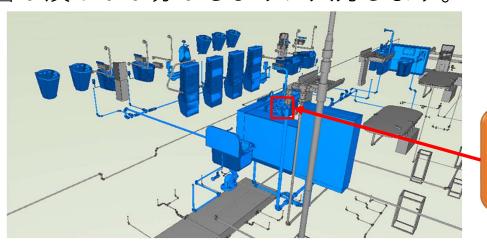
書類はエクセルのほか PDF,JPEG,PNGで 保存してください。

各フォルダに保存した仕様書等は機器情報シートにハイパーリンクとして入力していきます。

資料の準備 5 系統管理のための準備



機器や配管、ダクト等に様々な情報を入力することにより、 メンテナンス時期の確認など、維持管理に活用することができます。 また、系統管理機能により、図面が読めなくても系統を一目で理解できます。 系統は「カスタムプロパティ」を使用して入力します。 系統をどのように分けて管理するかは、考え方により変わってきます。 例えば、給水の系統管理では、修理などでバルブを閉めた時に、 どの器具まで影響が及ぶかが分かるように入力します。

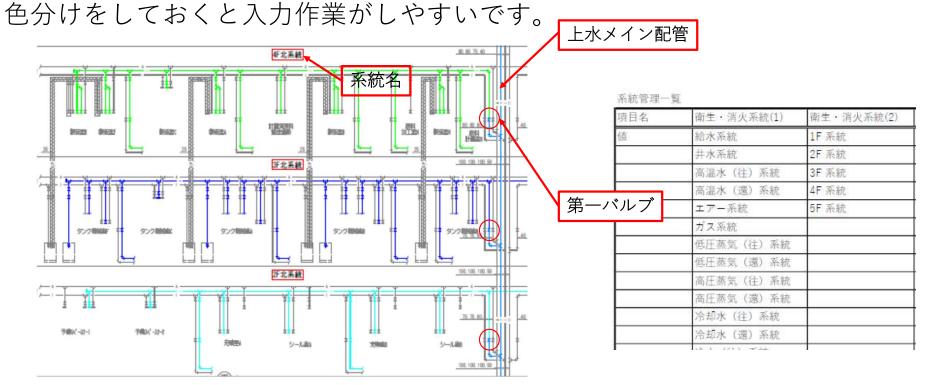


このバルブを閉めると 青いルートと機器に 影響が出ます

各種資料の準備 6 系統の分け方



方針を決めたら、内容をエクセルまどにまとめておきます。 また、系統図、平面図を、エクセルの内容に合わせて



入力作業 1 カスタムプロパティの準備



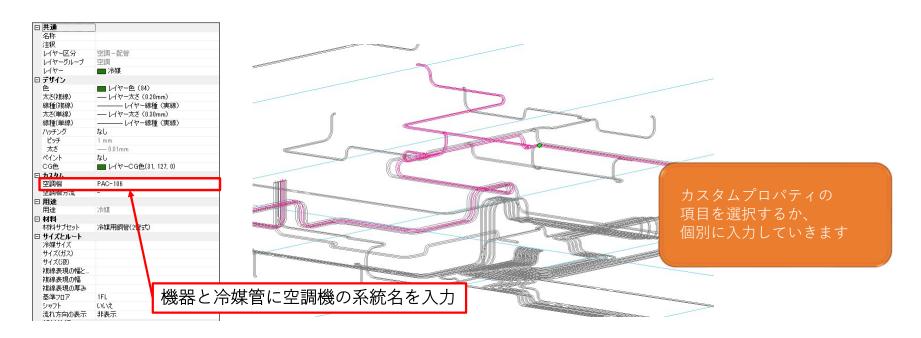
カスタムプロパティに系統情報を入力します。 カスタムプロパティの内容は個別に入力することもできますが、 予め「値の候補」を入力しておくこともできます。



入力作業 2 系統情報の入力



各部材のカスタムプロパティに系統を入力します。部材に対して当てはまる項目はすべて設定します。





機器番号と枝番号はExcelと連携する為に、 Rebroの機器に入力が必要です。

全角半角、スペース等、 手入力だと間違いが発生します。 先ほど作成した機器情報シートの内容を コピーしてRebroに貼り付けると ミスを減らせます。

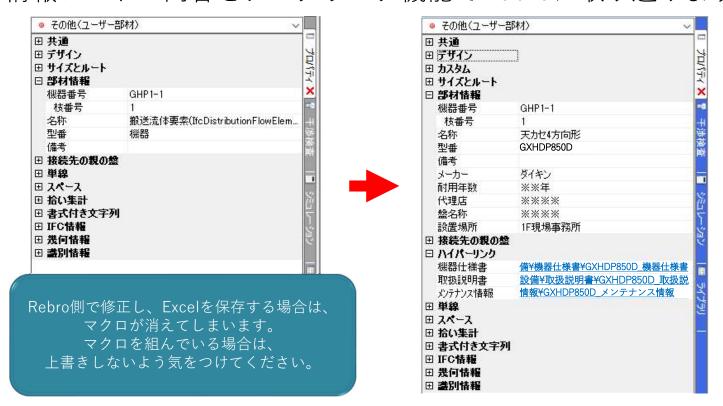
> その他の情報は データリンク機能で エクセルに入力された 内容を取り込みます



入力作業 4 データリンク



機器情報シートの内容をデータリンク機能でRebroに取り込みます。



●最後に●

RebroとExcelを使用した維持管理モデルは、 入力に手間がかかります。 また、維持管理モデルを実際に使用していた だくまでにも時間がかかり、 今回ご紹介した維持管理の方法は すぐにより良い内容へとブラッシュアップす ることも難しいです。 しかし、現時点でお施主様が無料で利用でき、 導入をお勧めしやすい内容です。 ぜひ一度試してみてください。

